

特色あるふるさと教育事例

学校名	松江市立鹿島中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	ふるさと教育の視点
1	総合的な学習の時間	ふるさと鹿島の再発見・地域を知る	ふるさとへの理解を深め、そのよさを大切に思い、地域の一員として活動する態度を養う。

1 特色ある取組の概要

- ・ 調べたいテーマに沿って、鹿島町について本などで資料を集める。
- ・ 鹿島町の実際の場所に行き、写真を撮ったり地域の方にインタビューをしたりする。
- ・ 集めた資料をもとに紹介したい鹿島町について新聞にまとめる。

2 各校のふるさと教育のねらいを達成するための授業（活動）のポイント（工夫）

- ・ 鹿島の産業や歴史を調べ、2年時には修学旅行の自主研修において、他地域の方にパンフレットを使って紹介する。それに向けて、ふるさとのことをあらためて学習する。
- ・ 実際に産業や歴史に携わる地域の方から、町おこしに対する熱意や歴史について直接聞き、さらにふるさとを大切にする気持ちを育てる。
- ・ 実際に地域に出かけて取材をすることで、あらためて鹿島町の魅力を考えるきっかけを作る。



3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身についたか等）

- ・ 産業で町おこしをされる方の話を直接聞いたり、地元食材を使って実際に作られた商品を間近で見たりすることで、あらためて地元の産業や地元食材に興味をもった。
- ・ 神社や歴史資料館で歴史について話を聞くことで、今まで知らなかった鹿島町の歴史について知ることができ、鹿島町の魅力について考えることができた。
- ・ 新聞にまとめることで、ふるさと鹿島の良さを発信しようとする気持ちが高まった。

